

2 避難所「事前準備～開設～閉鎖まで」の流れ

災害発生初期 (混乱を最小限にする)

○初期の避難場所が体育館であることを事前に周知する。

- ・事前に町会、自治会、管理組合の話し合いで、第一次避難場所が体育館であること、及び可能な範囲で食料・水等を持ってくることを周知しておく。<混乱を避けるためにまず体育館で落ち着く>
- ・ステージは、初期の本部にするため、避難場所にしない。
- ・避難者で、「災害時における避難所運営の手引き」「名簿」等を用意する。

◎まず「●」の場所に保管している「避難所開設箱」を開ける。

※入っているもの…避難所運営マニュアル、手引き、名簿、体育館使用スペース等

○長期化が予想されるときに避難所開設(運営)に向けて準備する。

- ・避難してきた地域住民による自主運営組織作成準備を進める。
- ・松戸市避難所直行職員、学校は避難所協力をする。

1 避難所開設・運営 自助・共助・公助

「松戸市地域防災計画」及び千葉県「災害時における避難所運営の手引き」を活用し避難所運営をする。

※赤い文字で示した頁は、千葉県「災害時における避難所運営の手引き」による。

安全チェック表で安全を確認後、避難者を受け入れる。

1 初期対応 14頁

- ・避難者名簿の作成
- ・居住組の編成
- ・居住スペースの割り当て

※市職員・学校は、初期対応に協力する。

2 運営組織の設置 17頁

- ・運営組織(役員)の設置
- ・居住組での仕事
- ・活動班の設置

3 活動班運営業務 20頁～ 「避難所4」避難者による自主運営組織(組織図参照)

- ・総務班
- ・情報班
- ・施設管理班
- ・食料・物資班
- ・保健・衛生班
- ・要援護者班
- ・支援渉外班(ボランティア班を含む)

4 運営留意事項 35頁

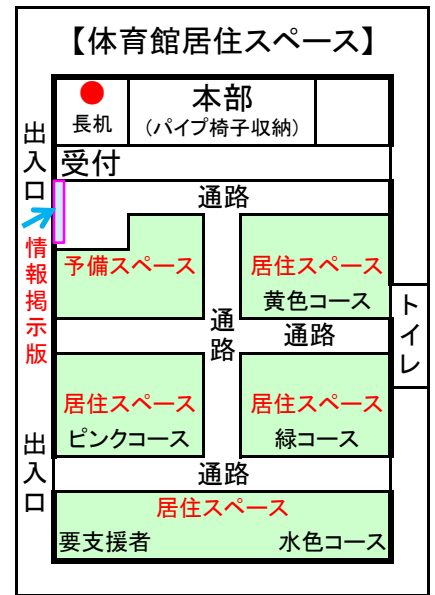
- ・生活ルールの策定・周知
- ・要援護者・女性への配慮

2 避難所の閉鎖

1 閉鎖方針 36頁

2 関係者との調整 36頁

- ・被災者への自立支援
- ・施設管理者との調整



※別紙4、5頁参照

○優市先から指定される避難所が	【八ヶ崎第二小学校<想定>】 「松戸市地域防災計画」より
	○浸水想定(最大浸水深) 0m ○収容可能人口 696人
	【近隣の応急救護所予定施設】 ・八ヶ崎小学校 ・小金小学校
	【近くの広域避難場所】 ・21世紀の森と広場
【浸水想定区域別避難所】	・小金小学校 ・小金市民センター ・小金南中学校 ・八ヶ崎小学校 ・東漸寺 ・幸谷小学校 ・松戸第三中学校